

150のHistory

1960(昭和35)年～1964(昭和39)年

アジア初 オリンピック開催へ

1964年、アジアで初めてのオリンピックが東京で開催されました。戦後の廃墟からの復興を世界にアピールすることができました。

1954年に「岸壁の母」という曲がヒットしました。この曲は、第2次世界大戦後、ソ連による抑留から解放され、引揚船で引揚港の棧橋（岸壁）へ帰ってくる息子の帰りを待つ母親を歌ったものです。

こうした戦争色が色濃く残る音楽から9年後の1963年には「こんにちは赤ちゃん」が大ヒットしています。

♪こんにちは赤ちゃん……

はじめまして わたしがママよ♪

戦争の暗さなど一切感じません。「母」が「ママ」になるなど、社会も大きく変化していたことが分かります。

さて、1964年の東京オリンピックの聖火リレーは、奈良県内も通過しました。和歌山県から奈良県に入り、五條市、天理市、奈良市などを經由して京都府へと引き継がれました。

下記の写真は大和高田市今里の交差点を通過する聖火ランナーの様子です。



「奈良県立図書情報館」のサイトより